

南さつま市、霧島市が誕生

新たなスタート切る

加世田市、坊津町、笠沙町、大浦町、金峰町の1市4町からなる新市「南さつま市」の開庁式が7日、旧加世田市役所

開庁式には、川野信男旧加世田市長をはじめ、中尾昌作旧笠沙町



新市長を祝った開庁式。南さつま市の本庁前で。

人によりくす玉が割られると、出席者から盛大な拍手が上がり、出席者ら全員で新市の誕生を祝った。

なお、今回の合併により、人口が約4万3000人になった。この日は、国分市、溝辺町、横川町、牧園町、霧島町、隼人町、福山町

の1市6町による新市「霧島市」も誕生。旧国分市の国分シビックセン

ター前で開庁式が行われ、旧市町の首長ら関係者が新市誕生を祝った。霧島市は人口約12万7000人、鹿児島市に次ぐ県内第2位の都市となった。

かごしまリフォーム博覧会

出来栄など体感



6日、鹿児島市の九州電力鹿児島支店で「第1回かごしまリフォーム博覧会(オール電化フェア)」を開き、家族連れが多数来場しリフォームなどの出来栄など体感してい

た。会場では、リフォーム会社11社の社員らが対応し、訪れた来場者の相談に真剣に対応していた。「ハートシステム」が付いた安心住宅を提供するリフォーム業者は、一人ひとりのライフスタイルに合わせ、プロの立場から丁寧に接客していた。

また、商談(相談)コーナーでは悪徳リフォーム業者の対応策を真剣に聞いてほしいと挨拶。続いて、堅田半幸氏を講師に石綿等の有害性を学び、予防対策を身につけ被害者にならないよう

最新機種等ずらり

第7回ガス展

国分隼人ガス(株)の塚田靖人社長と日本ガスエ

ネルギー(株)の沼田社長は5、6日、隼人町の隼人国分サティで第7回ガス展を開き、連日多くの来場者が詰めかける盛況ぶりを見せた。



オープニングセレモニーでは、塚田社長が「より多くの皆様方に環境にやさしく、高い利便性、調理性などガスの持つ力を知っていただき、さらなる普及に努めていきたい」と挨拶。塚田社長、沼田社長、飯島敏光隼人国分サティ店長の挨拶があった。会場には、エコパナー・コンロ揚げ物温度自動調理・コンロ炊飯など、便利で安心な機能

の付いたガス機器や、床温水暖房・浴室暖房乾燥機付きの多機能給湯器が展示されたほか、コンロの魚焼きグリルで、生地から15分で完成するピザやゆで卵などを作る料理実演やちぎり絵教室など多彩なイベントもあり、プレゼントの花の苗を手にした来場者は、担当者から説明を受けながら、ずらりと並んだ商品の品定めに余念がなかった。隼人町の主婦は「去年は来そびれて残念だった。今年には必ずと思っていた。ガス器具もずいぶん便利な機能がついて、目移りしますね」と話していた。

また当日は、正面玄関前に天然ガス自動車とガス器具展示者のコーナーも設けられ、来場者の関心を引いていた。

県建設業青年部会・ボウリング大会

団体で鹿児島支部が優勝



熱戦が繰り広げられた大会。鹿児島市の国際ボウルで、鹿児島支部が優勝した。同大会は、会員の親睦を深めようと経営技術研修会終了後に開かれた。当日は、県下各支部の会員らが日頃の仕事を忘れ、和やかな雰囲気の中でプレーを楽しんでいた。大会では、珍プレーや好プレーが続出するなど、熱戦を繰り広げた結果、個人の部で益満さんが見事栄冠を手にしたほか、団体の部では鹿児島支部が優勝に輝いた。

主な成績は次の通り。【団体の部】優勝＝鹿児島支部▽準優勝＝串木野支部▽3位＝指宿支部【個人の部】優勝＝益満裕一▽準優勝＝郡山浩紀(株)郡山組・鹿児島支部▽3位＝上金正巳(株)和田機動建設・指宿支部

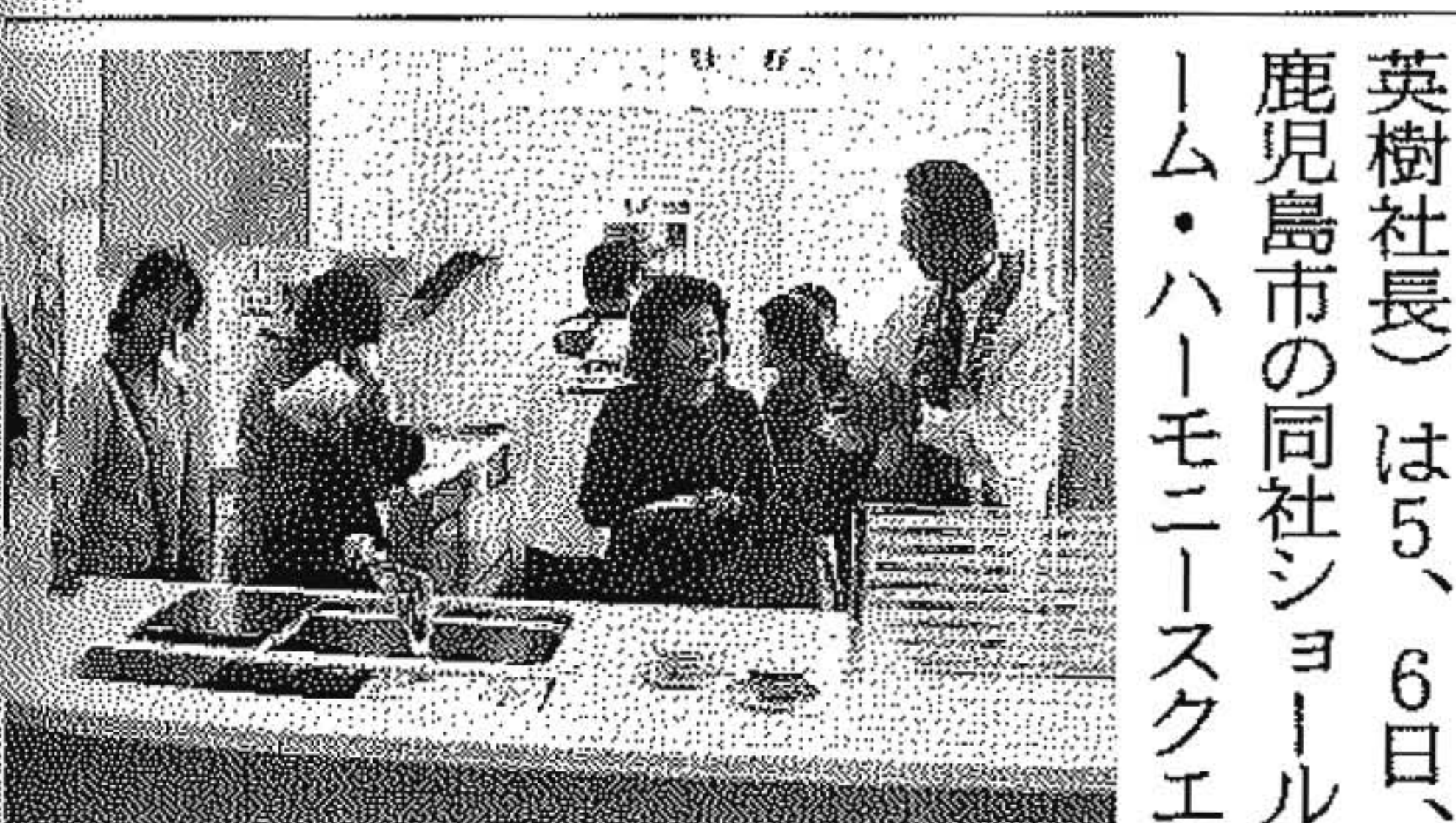
造園校技能まつり

地元住民らでにぎわう

造園校技能まつり実行委員会(大迫裕嗣実行委員長)は5、6日、鹿児島市の鹿児島造園技術専門校(坂上久美子校長)実習場で「造園校技能まつり」を開き、地元住民らが多数訪れて大盛況を博した。



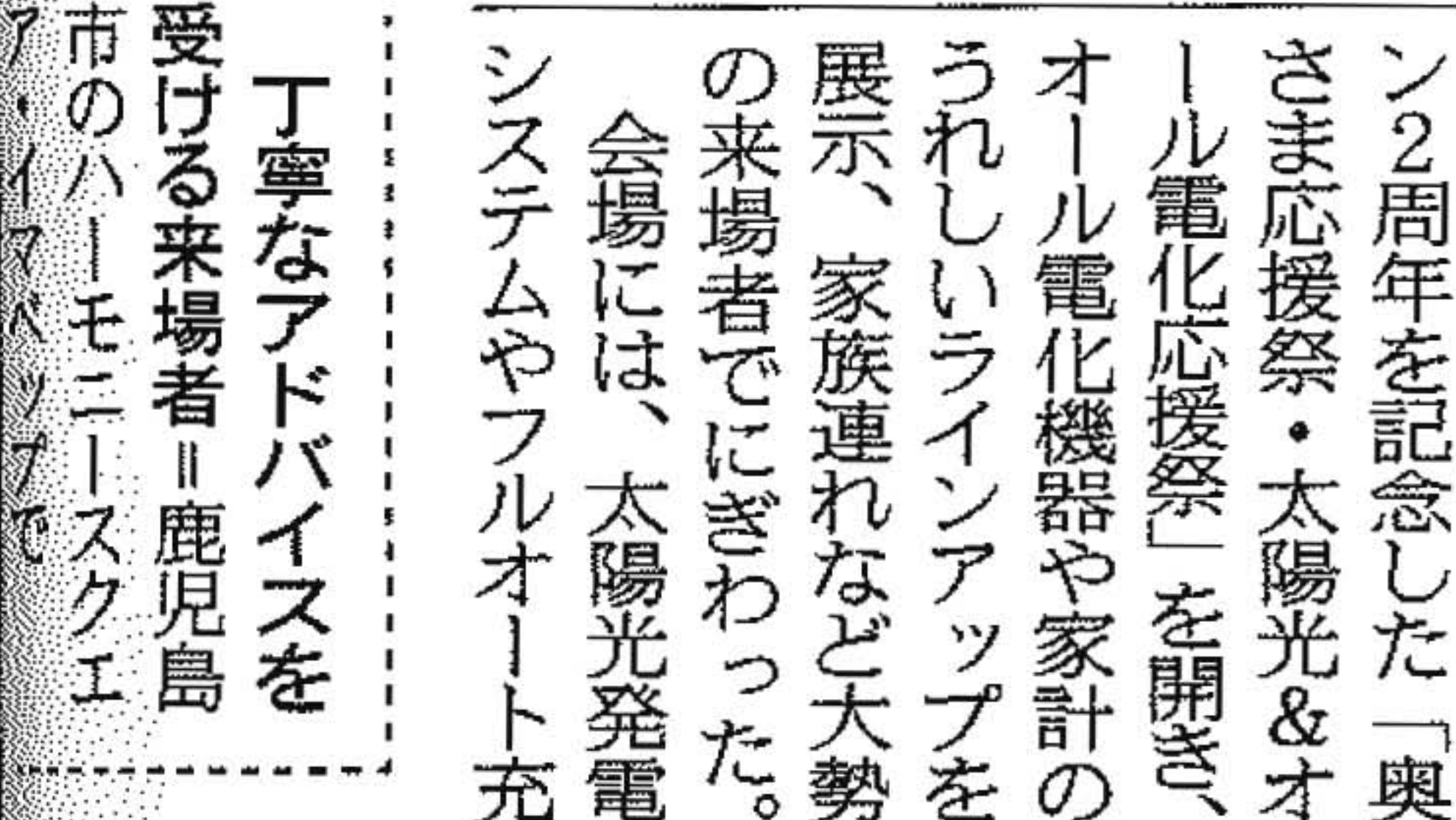
技能まつりは昨年、他団体等も同時にかごしま県民交流センターで実施したが、地元や修了生などから従来の同校実習場での開催を望む声が多かった。そこで今年には造園校実習場と12、13日のかごしま県民交流センター



訓練の成果を披露した庭造り。鹿児島市の鹿児島造園技術専門校。鹿児島造園技術専門校

多種多様な商品展示

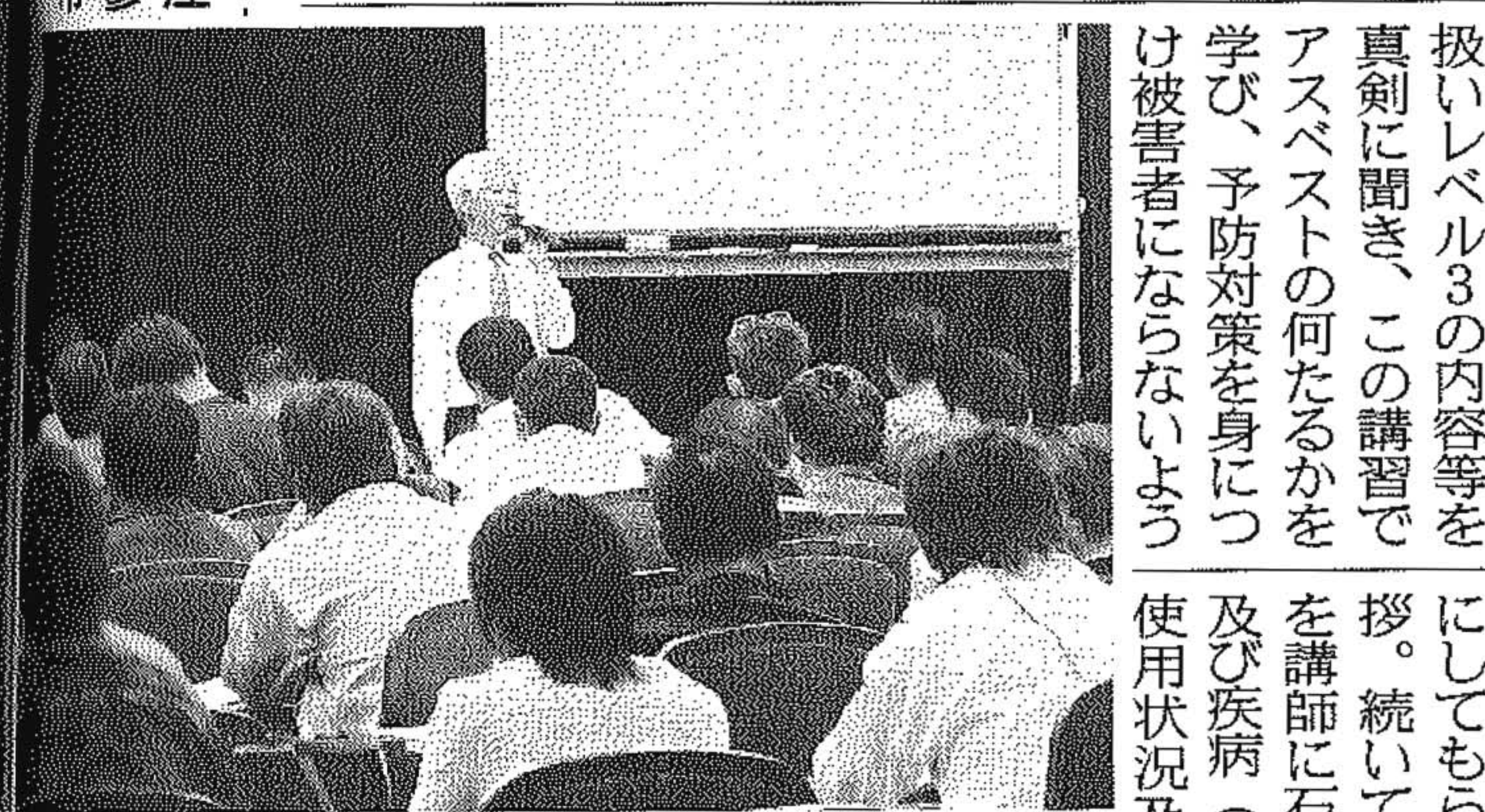
今別府産業(株)は5、6日、鹿児島市の同社ショールーム・ハーモニースクエ



ア・イマベップでオープン2周年を記念した「奥さま応援祭」を開催。来場者は各コーナーで商品の良さを実際に触れて、住まい・暮らし・家族の要望をかなえた商品や製品を体験していた。また、会場の各種コーナーでは、住まいやリフォームに関する相談から、ガーデンシステムやフルオート充

石綿取り扱い作業特別教育 石綿の有害性学ぶ

建築物の解体や改修工事などに従事する約1000人が参加、石綿の有害性や粉じん抑制措置などを学んだ。特別教育は、石綿障害予防規則が7月1日から施行され石綿が使用されている建築物の建築物解体・改修工事等に従事する作業者に特別教育が義務付けられたことなどから実施した。



同日は、池堂理事長が「コロナアル・フルベス」などのアスベスト取り

作業にあたっての注意事項など受講する参加者。鹿児島市の県庁

龍一理事長)は5日、鹿児島市の県庁で特別教育